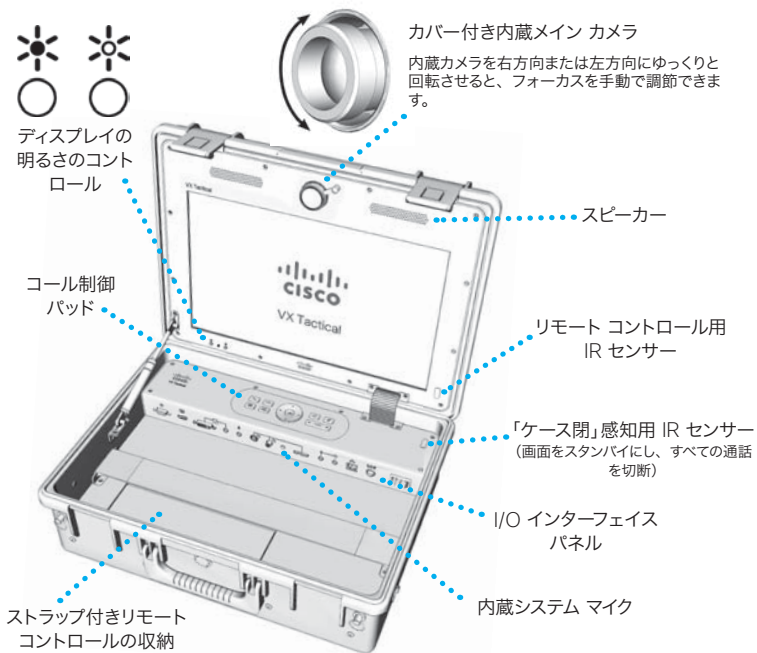


# Cisco TelePresence VX Tactical クイック ガイド



Cisco TelePresence SX20 コーデックのプロビジョニング、設定、および操作に関する情報については、次の Web サイトを参照してください。  
<http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>


## システムへの電源投入

システムに電源を投入すると、画面がオンになり、VX Tactical 内に収容された SX20 コーデックが起動します。

電源には、適切な AC または DC-DC コンバータ ケーブルを使用します。



システムをオフにするには、電源を切断します。


## マイクのミュート

システムのマイクをミュートにするには、 を押します。これにより、システムに接続されたすべてのマイクもミュートになります。





もう一度押しと、マイクが再度アクティブ化されます。




## プレゼンテーションの共有

接続した PC のコンテンツを共有するには、リモート コントロールで  を押します。 を再度押しとメイン カメラに戻ります。


接続された他のビデオ ソースを選択するには、 を押し、メイン メニューの [PRESENTATION] を使用します。

## コールの発信


 を押し、ディレクトリを表示します。 を使用してメニューを移動し、目的の番号を選択して  か  を押してコールを発信します。

 リモート コントロールの英数字  
 キーボードを使用して URI または  
 は発信番号を入力することもできます。



## 自画面


コール中に、メイン カメラから通話相手に表示される画面を表示するには、 を押します。

## 音量の調節



音量を上げたり下げたりするには、 を押します。

## 着信コールへの応答

着信コールに応答するには、 または  を押します。

着信コールを拒否するには、 を押します。

## コールの終了

コールを終了するには、 を押します。もう一度押し (または  を押し) 確認します。

## I/O パネルの詳細

### HDMI ディスプレイ出力

2 台目のディスプレイを HDMI OUT に接続します (大きな画面で表示する場合など)。

ディスプレイ出力 (HDMI 2) は、システムメニューから設定できます。ナビゲーション ボタンを使用し、[SETTINGS] > [ADMINISTRATOR SETTINGS] > [ADVANCED CONFIGURATION] > [VIDEO] > [OUTPUT] > [HDMI 2] に移動します。

### マイク 2 入力

3.5mm プラグを使用してセカンダリ マイクを接続すると、テレプレゼンスのコールを強化できます。

(注) ヘッドセットのマイクを MIC1 に接続しても、MIC2 音声は聞こえます。

オプションの Cisco Performance Mic 20 マイクを使用している場合、ミュート ボタンを押すとシステムのすべてのマイクがミュートになります。TRC リモートのミュート ボタンを押した場合も同様です。

### カメラ (ビデオ) 入力

代替のカメラ ビデオ ソースを接続すると、内蔵システム カメラよりも優先的に使用されます。

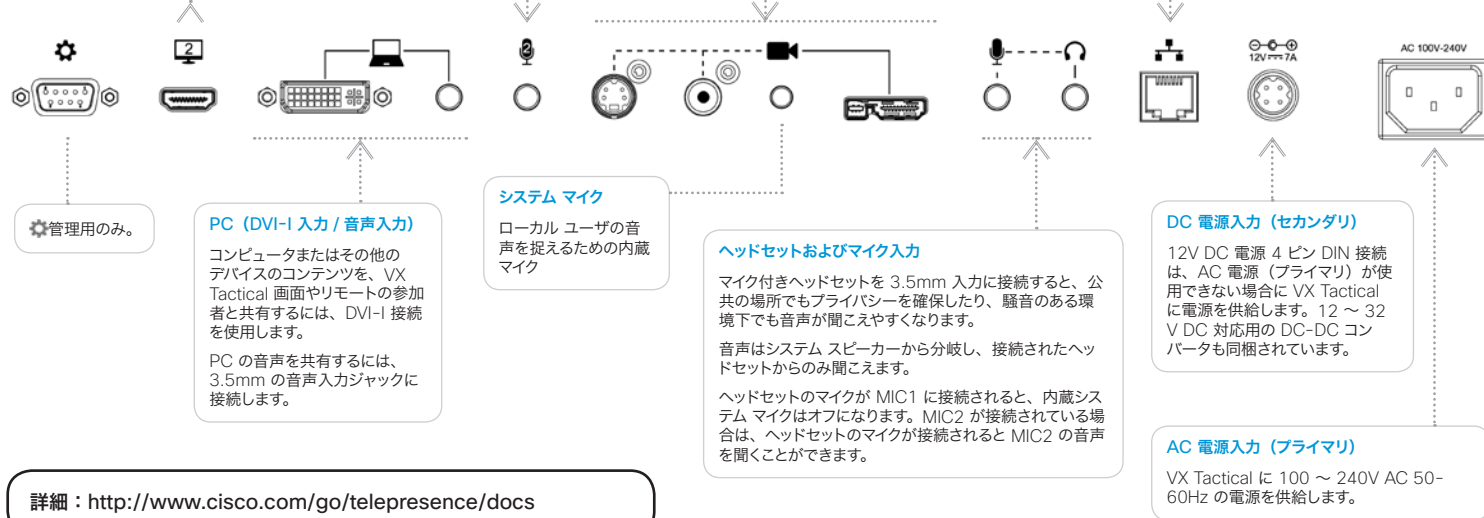
代替ソースの信号の優先順位は次のとおりです。

- HDMI 入力 (オプションの制御ポート付き) Cisco Precision HD カメラを使用している場合、カメラ コントロール機能を使用できます。
- コンポジット入力
- S ビデオ入力



### 警告!

システムから出ているケーブルを蓋で挟むと、ケーブルが切断したり破損したりするおそれがあります。



管理用のみ。

### PC (DVI-I 入力 / 音声入力)

コンピュータまたはその他のデバイスのコンテンツを、VX Tactical 画面やリモートの参加者と共有するには、DVI-I 接続を使用します。

PC の音声を共有するには、3.5mm の音声入力ジャックに接続します。

### システム マイク

ローカル ユーザの音声を捉えるための内蔵マイク

### ヘッドセットおよびマイク入力

マイク付きヘッドセットを 3.5mm 入力に接続すると、公共の場所でもプライバシーを確保したり、騒音のある環境下でも音声が聞こえやすくなります。

音声はシステム スピーカーから分岐し、接続されたヘッドセットからのみ聞こえます。

ヘッドセットのマイクが MIC1 に接続されると、内蔵システム マイクはオフになります。MIC2 が接続されている場合は、ヘッドセットのマイクが接続されると MIC2 の音声を聞くことができます。

### ネットワーク入力

イーサネット接続を使用すると、VX Tactical をネットワークに接続できます。

### DC 電源入力 (セカンダリ)

12V DC 電源 4 ピン DIN 接続は、AC 電源 (プライマリ) が使用できない場合に VX Tactical に電源を供給します。12 ~ 32 V DC 対応用の DC-DC コンバータも同梱されています。

### AC 電源入力 (プライマリ)

VX Tactical に 100 ~ 240V AC 50-60Hz の電源を供給します。

詳細: <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>